

原燃発第18-14号

平成30年1月26日

原子力規制委員会
原子力規制庁 殿

四国電力株式会社
取締役社長 佐伯 勇人

伊方発電所の発電用原子炉設置変更許可申請に係る重複する案件について

当社は、平成29年11月15日に伊方発電所の発電用原子炉設置変更許可を申請しておりますが（以下「既申請」という。）、この度、実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の改正に伴う発電用原子炉設置変更許可を申請致しました。（以下「後申請」という。）

従いまして、既申請と後申請とが重複することとなりますが、当社としましては、相互の申請内容に安全上の関連はないと考えておりますので、既申請案件と後申請案件に対し審査を受ける優先度を付けず審査して頂きますようお願い致します。

なお、いずれかの申請の許可後、もう一方の申請に対する補正申請を実施する予定です。

【既申請案件】

1. 申請書名：伊方発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書
（3号原子炉施設の変更）
2. 申請日：平成29年11月15日（原子力発第17245号）
3. 変更の理由：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の改正に伴い、3号炉の所内常設直流電源設備（3系統目）を設置する。

【後申請案件】

1. 申請書名：伊方発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書
（3号原子炉施設の変更）
2. 申請日：平成30年1月26日（原燃発第18-13号）
3. 変更の理由：実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の改正に伴い、3号炉における地震時の燃料被覆管の閉じ込め機能の維持に係る設計方針を追加する。